

当世デンマーク女子学生事情 ～オルボー大学土木工学科～



小松登志子
論説委員
埼玉大学 名誉教授

1. デンマークのオルボー大学

この夏、国際共同研究のためデンマークのオルボー大学土木工学科に2ヶ月近く滞在した。研究には関係ないが、女性活躍先進国である北欧の大学の土木工学科にどのくらい女子学生がいるのか興味を持ち、女子学生数や就職状況など幾つかの項目について聞き取り調査をしてみた。デンマークの国土はほぼ九州程度、人口は約560万人である。5つの国立大学があり、私立大学はない。そのうちの3大学（コペンハーゲン工科大学、オーフス大学、オルボー大学）が土木工学教育を行っている。大学入試はなく授業料も無料である。オルボー大学は人口約14万人の都市オルボーにある。5つの学部があり、学生数は約21,000人である。

2. オルボー大学理工学部土木工学科の女子学生事情

学科教育委員会からの回答や土木工学科教授に聞きとりした結果を以下に紹介する。オルボー大学では学部教育は4年間であるが、修士に進む学生は学部教育3年と修士課程2年の計5年間で修了となる。ほとんどの学生が修士課程に進むとのことである。

1) 土木工学科の女子学生数とその比率

表に女子学生数・比率を示す。参考に埼玉大学工学部建設工学科のデータも示した。埼玉大学と比べて女子学生の割合はそれほど高くない印象を受けるが、博士の割合はかなり高いといえる。また修士、博士の学生数は多い。学科としては当面5～10%増を目指しているとのことであった。

土木工学科の女子学生数とその比率

オルボー大学		埼玉大学	
学部1～3年	75/287 (26%)	学部1～4年	50/342(15%)
修士1～2年	96/383 (25%)	修士1～2年	21/ 97(22%)
博士1～3年	18/ 59 (30%)	博士1～3年	5/ 30(17%)

(注) 数字は女子学生数/総学生数(割合)を示す(データはいずれも2017年9月現在)

2) 女子学生を増やすためのプログラムや戦略はあるか?

回答「オルボー大学は平等と多様性を強化する戦略を進めている。学生募集は男女両方にアピールする方法で広報している。例えば工学教育プログラムの広報には必ず男女両方の写真を使うように心がけている。」

女子学生勧誘にはHPにロールモデルとなる先輩女性の写真などを掲載しているとのことである。

3) 女子学生の就職先はどのようなところか?男子学生に比べて不利な点があるか?

回答「コンサルタント会社、政府、地方自治体など。会社を起業する男子学生もいるが、女子学生はほとんどいないため、そのサポートを考えている。就職には男女とも均等の機会を持っている。」

4) 就職した女子学生は結婚・出産後も仕事を続けるか?仕事と家庭との両立は容易か?

回答「結婚・出産後も仕事を続けている。デンマークでは通常、週37時間労働であり、多くの企業はフレックスタイムを採用している。週30時間という条件を提供している企業もある。」

週37時間とはうらやましい話である。確かにデンマークでは午後3時頃から帰宅ラッシュになる。産休など労働時間以外の条件もあると思うが、保育園は地域ごとに完備されており、不足はないとのことである。参考までに、これまで共同研究を行ってきたオーフス大学のある女性教授は4人の子供を育てている。

5) 女性土木技術者の不足という社会的問題はあるか?

回答「女性土木技術者だけでなく全体に土木技術者が不足しているため、国としてNational Science DayやGirl's Day in Scienceなどの企画を展開している。」

これらは大学から高校に出向いて講義などを行い、学生が理工系に進むよう勧誘するもので、後者は特に女子学生を対象としている。

3. 女性技術者を増やすには

デンマーク工学協会の会員は約10万人、女性会員は23%である(2012年)。これに比べて日本の土木学会の女性会員は4.9%(2017年3月)でまだまだ比率は低い。デンマークについての限られた情報からではあるが、女性技術者・研究者を増やすには、社会の受け入れ体制を整備すること、裾野としての工学系女子学生を増やすことなどが重要と思われる。